

<報道機関各位>

令和 8 年 1 0 月 7 日

廃炉参入希望の県内企業向け廃炉スタディツアー の開催結果について（開催：R8.10.6（火））

福島県及び福島廃炉関連産業マッチングサポート事務局※は、昨日、廃炉関連産業への参入・事業拡大を目指している県内企業（同事務局登録企業）を対象とする「令和 8 年度第 2 回廃炉スタディツアー」を開催しましたのでお知らせします。

主な内容は、①視察（東京電力福島第一原子力発電所）、②操作体験等（東京パワーテクノロジー(株)福島テクニカルセンター）、③座学（廃炉事業の特徴や今後の発注見通し）です。

今回で 13 回目の開催となり、のべ参加企業数は、128 社となりました。

つきましては、同発電所の廃炉に関する知識習得を支援する本取組について報道をいただきたく、どうぞよろしくお願いいたします。

※ 福島廃炉関連産業マッチングサポート事務局：

東京電力福島第一原子力発電所における廃炉関連産業への参入を希望する地元企業と廃炉事業の元請企業を効果的につなぐため、（公財）福島イノベーション・コースト構想推進機構、（公社）福島相双復興推進機構、東京電力ホールディングス(株)が R2.7 に設置。

記

1 参加者数 県内企業 7 社(19 名)

2 現地視察・操作体験等（9:00～15:10）

（1）原子力発電所の視察(9:40～12:40)

（場所）福島第一原子力発電所(大熊町、双葉町)

（内容）○車窓から汚染水処理設備（ALPS 等）、貯蔵タンク、キャスク仮保管設備等について説明

○降車(1～4 号機側のブルーデッキ、5・6 号機側のグリーンデッキ)し、各号機の廃炉の進捗状況、ALPS 処理水の海洋放出のしくみ等を説明

（2）廃炉事業で使用する機材等の操作体験等（14:00～15:10）

（場所）東京パワーテクノロジー(株)福島テクニカルセンター（富岡町）

※同社が、廃炉を含む発電関連事業の技術力の向上と維持等を目的として令和 3 年 9 月に開所させた教育訓練施設。

（内容）○分析用のマニピュレーター（マジックハンドのような装置）の操作体験、四足歩行ロボットの操縦体験、グローブボックスの使用体験等

3 講義（15:20～16:20）

（場所）東京パワーテクノロジー(株)福島テクニカルセンター（富岡町）

（内容）① 廃炉のお仕事に役に立つ話

東京パワーテクノロジー(株)が、廃炉事業で求められる法令遵守による安全対策や品質管理に留意した製品の製造や搬入、設置について説明

② 福島第一原子力発電所廃炉中長期実行プラン 2025 に基づく「中長期発注見通し」について

東京電力 HD(株)が、主要な廃炉作業プロセスに対して今後の発注内容を細分化、整理した同見通しについて説明

4 参加者の主な意見

- ・ 3年前の前回参加時より着実に廃炉が進んでいることを実感した。
- ・ 先端技術を活用した訓練施設での操作体験など学びの多い一日だった。
- ・ 基準、セキュリティ関係に最新の注意を払っていることが分かった。
- ・ 今後の工事の発注予定、地元企業と連携する際の候補作業の説明など参考となった。

5 写真

(1) 東京電力福島第一原子力発電所構内の視察

① 1号機の廃炉状況 (ブルーデッキ)



② ALPS 処理水の海洋放出状況(グリーンデッキ)

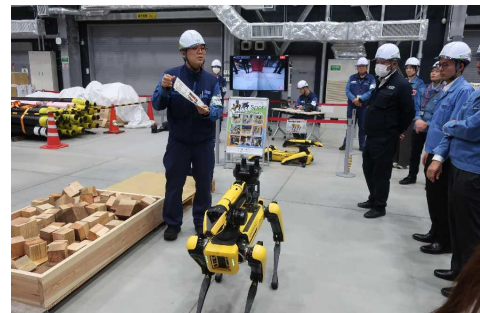


(2) 東京パワーテクノロジー(株)福島テクニカルセンターでの操作体験等

③ マニピュレーターの操作体験



④ 四足歩行ロボットの操縦体験



(3) 講義

⑤ グローブボックスの使用体験



⑥ 中長期発注見通し(東京電力 HD)



【スタディツアーに関するお問い合わせ】

(公財) 福島イノベーション・コースト構想推進機構 産業集積部
担当部長兼廃炉関連産業集積課長 高橋 徳行(たかはし のりゆき)

E-mail : hairo-matching@fipo.or.jp

電話 : 024-581-6878

住所 : 福島市中町 1-19 中町ビル 6 階

【その他お問い合わせ】

福島県商工労働部産業振興課

主幹兼副課長 廣瀬 順平 (ひろせ じゅんぺい)

電話 : 024-521-7277 (内線 2944)